

県北の家庭教育応援企業通信

発行所

福島県教育庁県北教育事務所

福島市杉妻町2番16号

電話 024-521-2814

家庭教育応援企業の皆様におかれましては、お忙しくお過ごしのことと存じます。

さて、各企業の従業員の皆様の中には、夏休みが始まり、お子さんと充実した時間を過ごされている方もいらっしゃるかと存じます。今回の通信では、夏休みにご家庭で取り組んでいただきたい「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」のお知らせと過日行われました令和3年度第1回家庭教育推進県北ブロック会議の協議内容から「メディア（SNS）コントロールの在り方」についての情報を掲載しますので、ぜひご一読ください。

夏休み 暑さに負けず レッツ十七字！

子どもと大人・子どもと子どもがペアで作る五・七・五

「ふくしまの 想いを繋ぐ 十七字」

Q：募集期間は？

A：令和3年6月14日（月）～8月31日（火）

Q：どんなことを書けばいいの？

A：【絆部門】 日頃考えていること 日常生活等での共通体験を通した十七字

【ふるさと部門】 ふくしまへの想い 復興・再生について

震災の記憶の継承 新生ふくしまへの思い

ふるさととしての福島よさ、願いについての十七字

夏の思い出に！

夏休みの職場体験等の企業イベントの中で、十七字の作品づくり等を企画してみたいかがでしょうか？

～令和2年度優秀作品より～

○ 父さんの おなか私 まくらです 1年生

◇ 幸せは 寝ている隣の 子の寝顔 父

○ 十年後 笑顔で食べる 桃りんご 1年生

◇ 安心と おいしさ伝え 子と食べる 母

学校から配付された応募用紙でぜひご応募ください。

※ 福島県教育庁社会教育課のHPからもダウンロードできます

Q：どんな人とペアになればいいの？

A：「子どもと大人のペア」「子どもと子どものペア」であれば、どなたでもOK

- 子どもと親・保護者、子どもと祖父母
- 地域で様々な活動を行っている子どもとその指導者
- 職場体験を行った子どもとその事業所の方
- ボランティア活動を一緒に行った子どもと活動先の大人

同一ペアでの応募は各部門1点（両部門応募可）です。
五・七・五の十七音を基本として応募してください！



＜第1回家庭教育推進県北ブロック会議 7月8日(木) 於：福島県教育会館＞

「メディア(SNS)コントロールの在り方」について様々な立場の構成員の方々から御意見をいただいた内容をまとめました。お子さんとSNSの関わりについて頭を悩ませている方にとって、子育てのヒントになれば幸いです。

家庭内でのSNSの状況はどうなっているの？

みんなでテレビを囲んでいた時代と違い、近くに誰もいない状況下でそれぞれスマホを使っている。

親はコミュニケーションをとることを心がけたいと思っている。しかし、現実、どうしたら良いかわからない。



一緒にいる時間が増えたにもかかわらず親子の会話がないう。

ルールについて、きつく言うと思春期の子どもは反発するばかりで効果なし。

オンラインゲームは、仲間で行うため勝手に抜けられない。
→親子だけでは解決できない
→ルールが作れない。

SNSによるいじめ、不登校、性被害、その他の様々な危険に巻き込まれることが心配です

いじめをしている側に加害者意識が無いことが問題。

ゲームの中で仲間外れになるような書き込みや画像加工によるいじめがある。

性被害の問題は低年齢化している。まだ子どもが小さいから大きな被害が無いとしても危機感を持つことが必要。



性被害・大麻・家でなどSNSにかかわる問題は今後も増えていくのは明白。

すぐには変わらなくても、こんなことをしてはどうでしょう

子どもを支える家族、その家族を支える地域(話を聞いてあげられる場)があればよいのでは。
職場の同僚に子育ての相談を！



専門家の話や「もし、自分がこうなったら・・・」というような**バーチャルな体験**をしてみることで、親子それぞれがSNSとの付き合い方を見つめ直せるのでは。

親の心にフィルタリングを！
親自身のSNSとの向き合い方を振り返ってみるのも大切。

子どもの異変(ため息、うつろな様子)にすぐに気づけるよう**アンテナを高く！**

家庭教育応援企業の取組をお知らせください

家庭教育を充実させるためには、家庭や地域だけでなく地元企業の家庭教育への理解や積極的な参加がますます求められています。

そこで各社の素晴らしい活動の様子をHPや企業通信等で広く紹介し、効果的な取組等を共有することで家庭教育の充実を目指していきたいと考えています。ぜひ、活動報告書にてお知らせください。



企業内学習会 実施企業を募集しています。



県北教育事務所では、企業内学習会実施企業を募集しています。

各学校で、授業参観時等にPTA対象の研修を実施していますが、仕事の都合で職場に戻らなければいけなかったり、仕事をしている方々の参加率が低かったりと、学校での研修への参加がしにくい場合もあります。そこで、より多くの方々に家庭教育の啓発を図っていくことを目指し、標記の研修を設定しております。

企業での研修を希望される場合は、県北教育事務所総務社会教育課まで御連絡ください。

- 講師派遣に係る旅費や謝礼は、福島県教育委員会で負担いたします。
- 研修実施を希望する旨を別添申込書によりメールもしくはFAXで下記担当までお知らせください。その後、打合せをしながら内容や日時等の詳細を決めていきます。
- メディア(SNS)コントロールの在り方を中心に、各企業の実態に合ったテーマを決めて、講師を紹介いたします。

〔研修テーマの例〕

- メディア(SNS)コントロールの在り方に関わって
 - ・規則正しい生活習慣
 - ・親子のふれあい
 - ・自己肯定感の形成
 - ・傾聴の仕方
 - ・個性の伸ばし方
 - ・読書習慣の形成
 - ・学習意欲の向上
 - ・運動の重要性
 - ・いじめ、不登校、非行への対応 等

申込先

福島県教育庁県北教育事務所 総務社会教育課 担当：菅野
TEL：(024) 521-2814 FAX：(024) 521-2870
E-mail：kanno_momoko_02@pref.fukushima.lg.jp



家庭教育応援企業としての御支援と御協力ありがとうございます

<福島市> 朝日システム株式会社、株式会社旭電化、アース株式会社、株式会社阿部紙工、有限会社アネスティ、株式会社アポロガス、イーコンセプト株式会社福島支店、株式会社イーブレイン、内池醸造株式会社、株式会社エイティック、株式会社A水技研、FA シンカテクノロジー株式会社、大槻電設工業株式会社、一般財団法人大原記念財団大原総合病院、株式会社沖データ福島事業所、株式会社オノヤスポーツ、株式会社環境分析研究所、株式会社キスキ、北芝電機株式会社、協三工業株式会社、きらり健康生活協同組合、協和ボーリング株式会社、株式会社銀嶺食品、株式会社倉島商店、株式会社クリフ、株式会社クリーンテック、株式会社ケーエフエス、税理士法人ケーエフエス、株式会社KF Sライフ設計、社会福祉法人けやきの村、株式会社光和設備工業所、株式会社小島建築設計事務所、寿建設株式会社、コボックス株式会社、株式会社古俣工務店、株式会社こんの、採用と教育研究所、株式会社サカイクリエート、有限会社櫻井運送、有限会社 幸、佐藤工業株式会社、有限会社佐戸川ダクト钣金工業所、株式会社サンク、株式会社サン・ベンディング福島、サンヨー缶詰株式会社、株式会社ジェンツ、株式会社三本杉ジオテック、株式会社信濃屋、シオヤユニテック株式会社、社会医療法人秀公会、渋谷レックス株式会社、新広建設株式会社、株式会社シンワ、生活協同組合コープふくしま、第一温調工業株式会社、大久自動車販売株式会社、ダイハツまつかわ、株式会社大丸工務店、株式会社ダイユーエイト、株式会社高槻、高野精器有限会社、特別非営利活動法人チームふくしま、中央設備株式会社、株式会社つながるファーム、株式会社帝北ロジスティックス、株式会社デイリーサービス、有限会社テレサ、東開工業株式会社、東芝プレジジョン株式会社、株式会社とうほうスマイル、株式会社東邦銀行、東北電力株式会社福島支店、株式会社トーネット、株式会社トーネットコーポレーション、有限会社西坂製作所、株式会社日進堂印刷所、株式会社日新土建、富久泉工業株式会社、福島エナメル工業株式会社、福島ガス株式会社、福島カラー印刷株式会社、株式会社福島銀行、公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会、公益財団法人福島県労働保健センター、福島酸素株式会社、福島信用金庫、株式会社福島製作所、福島ネオ工業株式会社、福島発電株式会社、福島钣金工業株式会社、ふくしま未来農業協同組合、株式会社福島民報社、福島民友新聞株式会社、株式会社フクセツ、福島ヤクルト販売株式会社、文化設備工業株式会社、社会福祉法人北信福祉会、株式会社丸福織物、株式会社丸立渡辺組、宮本技研工業株式会社、ミライズ株式会社、株式会社ももがある、株式会社モリヨシ技研、有限会社やない製麺、株式会社山川印刷所、株式会社ユアテック福島支店、株式会社ユミヤマ、社会福祉法人陽光会、社会福祉法人ライフ・タイム・福島、株式会社ライフロール、ワイチーエル株式会社、渡辺エンジニアリング株式会社、

(次ページへ続く)

- ＜川俣町＞ 有限会社カミノ製作所、有限会社川俣クリーンホープ、株式会社川俣町農業振興公社、株式会社小林、有限会社大善自動車整備工場、有限会社藤野機工、ベルグ福島株式会社、株式会社誉田、有限会社丸信モーター、ミツフジ株式会社福島工場、株式会社渡辺機械、
- ＜伊達市＞ 大沼林産工業株式会社、有限会社光陽スタジオ、三和石油ガス株式会社、公益財団法人仁泉会、社会福祉法人慈仁会、常興工業株式会社、株式会社新栄製作所、社会福祉法人信達福祉会、伊達物産株式会社、株式会社ナプロアース、富士通アイソテック株式会社、
- ＜桑折町＞ 曙ブレーキ福島製造株式会社、一般財団法人桑折町振興公社、株式会社三栄精機製作所、渋谷建設株式会社、根本建設株式会社、福興産業株式会社、株式会社メール観光、社会福祉法人緑風福祉会
- ＜国見町＞ 株式会社荏原風力機械国見工場、株式会社国見メディアデバイス、有限会社斎藤建設、株式会社東京エンゼル本社福島工場、株式会社樋口屋商店、株式会社福梁製作所、公立藤田総合病院
- ＜二本松市＞ 有限会社アドバイス、株式会社オウジ、株式会社協栄製作所、医療法人辰星会、株式会社菅澤建設、高橋電機株式会社、株式会社富樫縫製、二本松信用金庫、人気酒造株式会社、株式会社野地組、株式会社東昇コンサルタント、株式会社東北東海、福島タカラ電気工業株式会社、福島ルビコン株式会社、有限会社丸中建設、株式会社丸や運送、マレリ福島株式会社、南電設株式会社、有限会社未来テレトピア、
- ＜大玉村＞ おおたま村づくり株式会社、株式会社三和製作所、パーフェクトン株式会社、公益財団法人ふくしまフォレスト・エコ・ライフ財団、株式会社富士ピー・エス東北工場
- ＜本宮市＞ 株式会社相原製作所、株式会社アサヒビールコミュニケーションズ福島支店、アルス株式会社、有限会社飯田製作所、株式会社イワキ、福島エーアンドエープロイラー株式会社、川名建設工業株式会社、有限会社菅野自動車整備工場、株式会社光大産業、コバテック株式会社、有限会社佐藤工業、有限会社ゼスト、有限会社武田産業、東北協同乳業株式会社、株式会社東北電設、株式会社マインド、株式会社ヨシハラ、

